

## Experience 研修情報紹介

# 平成30年度良質な医師を育てる研修 「病院勤務医に求められる総合内科診療スキル」

国立病院機構では、毎年、多彩な内容で「良質な医師を育てる研修」を開催しています。豊富な経験を持つ先生方が講師を担当。実践的なスキルが身につく充実の内容です。今回は今年6月に開催された総合内科領域の研修をご紹介します。

日常的な内科系疾患および症候をはじめ、入院中にしばしば遭遇する「せん妄」など、療養上の問題は、臓器別の専門内科研修ではあまり取り上げられないものです。診療現場でのニーズが高いにもかかわらず、その領域に直接関連したものでなければ副次的に扱われることが多く、系統的な学習の機会がなかなかないのが現状でしょう。

今回の「病院勤務医に求められる総合内科診療スキル」研修は、国立病院機構各施設の総合内科スタッフがこれまでに蓄積してきた知識と経験を活かして企画しました。すべての病棟、施設で遭遇する可能性が高い問題に、適切に対処するためのスキルを伝授する実践的なプログラムです。よくある症例をもとに、救急搬送、入院、退院に至

るまで、1から6までのステップを追いながら臨床の現場に即した構成としました。

具体的には、①診断不明な状態の急病患者への初期対応、②ショック・敗血症・菌血症など臓器非特異的な医療問題に対する標準的な対処、③患者の愁訴に対しての臨床推論に基づいた情報収集（身体所見を含む）、④入院関連機能障害の予防と標準的な対処、⑤入院中の基本的な輸液オーダー、⑥ポリファーマシーへの対応、⑦多職種連携、地域包括ケアに必要な基本となるコミュニケーションなどのスキルが修得できる内容です。

一方的な座学ではなく、グループディスカッションを通じて、お互いに意見を出し合いながら、理解できるスタイルにしました。クイズ形式の親しみやすい講義を取り入れたのも特徴です。

また、近年、注目されているケアメソッド「ユマニチュード」を確立したジネスト・マレスコッティ研究所のイヴ・ジネスト氏をお招きしたレクチャーを盛り込み、参加者に好評を博しました。



グループディスカッション



模擬診察



症例クイズ



イヴ・ジネスト氏による「ユマニチュード」の講義

## 参加者の声

### 参加者の声 1

すべての講義において明日から試したい点が盛りだくさんでした。熱源、せん妄、嚥下、低Na、ポリファーマシーなど、今後、しっかり考えていきたいと思います。また参加したいです。

### 参加者の声 2

腫瘍内科の専門に進んで4年目です。救急外来、初診の時の臨床推論の仕方をもう1度おさらいできたのがとても良かったです。問題が発生した時に必要とされる対応の裏にある論理的な背景が再認識できました。お忙しい中、有意義な研修を開催していただき、感謝しています。

### 参加者の声 3

総合診療に取り組む上で大切な点、見落としやすい点が勉強できました。ユマニチュードは少しずつでも実践していけたらと思いました。

### 参加者の声 4

医師として働き始めて悩んでいた点に関して、経験豊富な先生方から入院から退院までの経過を講義形式で学ぶことができ、貴重な経験になりました。

### 参加者の声 5

ステップごとに順を追って学ぶスタイルだったので、日常診療で困っていたこと、どう対応していいのか分からなかったことが非常にクリアになりました。グループディスカッションでいろいろと意見交換ができたのも良かったです。

### 参加者の声 6

講義形式、クイズ形式、ディカッション形式が織り交ぜられていたので、飽きずに受講できました。特に他病院の研修医の先生方とグループで話し合いができ、非常に刺激になりました。

### 参加者の声 7

具体的な疾患の話から、入院患者さんの誰にでも起こりうることで、幅広く学べました。

### 参加者の声 8

ディスカッションの時間がたくさんあり、他の研修医の考え方を知ることができ、勉強になりました。日常の診療で疑問に思いながら、なかなか勉強する機会がなかった分野を学べて有意義な研修でした。ありがとうございます。

## 平成30年度 良質な医師を育てる研修 「病院勤務医に求められる総合内科診療スキル」

対 象： 初期研修医、内科系の後期研修医・専修医、卒後10年以内で、総合内科専門医を目指している医師

日 時： 平成30年6月28日(木)～29日(金)

会 場： 国立病院機構本部研修センター

参加者： 36名

### ■ 研修内容

#### 1日目

症例「87歳女性 複雑尿路感染症の敗血症性ショックの状態にて緊急搬送」

#### ●ステップ1「救急外来でのアクション（初療、診断）」

発熱で救急外来受診。応答は不明瞭で血圧86/62、脈拍112。

レクチャー：頭と体を総動員しよう

#### ●ステップ2「入院管理中の対応①」

緊急入院となりましたが、夜間大声を上げて騒いでいます。

レクチャー：せん妄のマネジメントについて

#### ●ステップ3「臨床推論と治療原則」

菌血症がそうです。感染巣の検索と治療プランは？

レクチャー：菌血症の臨床推論、熱源検索、抗菌薬選択の原則など

#### ●症例クイズ「この患者さんの診断、わかります？」

#### ●フリートーク「国立病院機構におけるジェネラリストのキャリアパスについて」

#### 2日目

#### ●ステップ4「入院管理中の対応②」

経口摂取を開始しましたが、誤嚥性肺炎になりました。

レクチャー：嚥下機能評価と誤嚥性肺炎の治療について

#### ●ステップ5「入院管理中の対応③」

食事を一時休止し、輸液を続けていたらNaが124になりました。

レクチャー：低ナトリウム血症のマネジメントについて  
点滴オーダーをどのように見直しますか？

#### ●ステップ6「退院に向けてのアクション」

症状は落ち着き、退院が決まりそうです。その前に処方を見直すことにしました。

レクチャー：ポリファーマシーについて

#### ●クイズ「解決臨床現場頻出プロブレム～病棟診療のちょっとした疑問に答える～」